



昨年の大みそかも、一昨年同様、雪の降る寒い日でした。それでも多くの方が除夜の鐘をつきにきてくださいました。一人では綱に手の届かない小さなお子さんが、お父さんやお母さんに抱っこされ鐘を撞こうとするその様子は、真冬の吹きつける風の冷たさをも忘れさせてくれるものでした。

さて年も明け「今年はどんな年にしようか」と、殊勝にも考えてはみるのですが、さまざまな不安ばかりが心を覆い、成り行きに任せるほかない人生が、また始まりそうな気がするのです。

新年のしめつけ

本堂改修に向け

光受寺責任役員

T・Yさん

新年明けましておめでとうございます。昨年は色々なことが有りました。とりわけ昨年十一月の報恩講の後の門徒総会では本堂の改修事業について議案として提出させていただきました。何かと大変な問題でしたが、どうにか門徒皆さんのご理解をいただきありがとうございます。私たちが役員は一年ほど前から協議話し合いを重ねてまいりました。その結果として提案させていただいたような内容になりました。本総会では中身を「審議いただき成立させていただき重ねて御礼を申し上げます」。

新年に入り、これからは資金の調達の段階に入っていく訳ですが、よろしくお願い申しあげ改修工事後は皆さんと共に本堂に集い法話を聴き読経を唱え心静かな生活を送りたいと願っています。また心の教育の場としてお寺本堂を活用し、宗教文化の向上に役立てば良いことだとも考えてもいます。どうか本年も「指導」「協力」をよろしく願います。

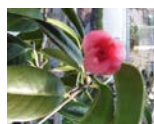
最後になりましたが門徒各位のお幸せをお祈りいたします。

同朋フリートーク

私のおばあちゃん

入方

R・Oさん



今から二年前の話です。

それは本堂に突然の知らせでした。私の携帯電話に、姉から「おばあちゃんが入院した」とメールが届きました。おばあちゃんの病名は「急性骨髄白血球病」。

医者からは命も時間の問題かも知れないと告げられました。予測もしていなかった大病に、私たちは驚き、何かの間違いいではないかと初めは信じられませんでした。その日から、長い長いおばあちゃんの病魔との闘いが始まりました。家族だけ面会が許された無菌室で、抗がん剤と輸血を繰り返す日々。薬の影響で食欲はなくなり、食べたものはすべもどしてしまいます。おばあちゃんは誰が見てもみるみる痩せていきました。それでも私がお見舞いに行くと、おばあちゃん「よく来てくれたね」と気丈に振舞い笑顔で迎えてくれました。治療で辛いはずなのに、孫の私たちに弱さを一切見せないところが本堂に強くて、逆に励まされてばかりいました。おばあちゃんは体力が落ちないように、熱が引いたときは部屋の中で歩いてみたりベッドに腰かけて足踏みをしたりと、自分で毎日努力を重ねました。

そして高齢にもかかわらず順調に回復し、無事ハケ月で退院することができました。入院前に履いていたスポンを見ても二か月「この定期検診はありますが、以前と変わらず毎日畑仕事や家事をこなしています。(私はおばあちゃんに「働きすぎだからもう少し家にいなさい」と注意されるけど、すっかりおばあちゃんの気質を受け継いでいるのだな」と思っています。この記事を読んでいる方で、同じ様な大病を患っている方がいらっしやるかもしれません。決して諦めないでください。今は医療も発達していますし、支えてくれる人もいます。そして何より、「治したい」という強い気持ちが一番の良薬になるはずですから。

光受寺今年の年中行事

2月下旬～3月中旬……光受寺しだれ梅観梅

夜…ライトアップと演奏会(内容は未定)

同時開催 秀瑤書院展

3月21日(月)春分の日…春季永代経

22日(火)………本山750回御遠忌参詣

9月23日(木)秋分の日…秋季永代経

12月2日(金)………おみがき

11日(日)………報恩講

12日(月)………十日講

●毎月第2土曜は同朋会実施(12月はお休み)

午後7時より～8時半まで

「共に生きる喜びを見出そう」

参加者感想……匿名希望

欲深き人の心と降る雪は
つもるにつけて道も判らぬ

以前から参加してみたいとは思ってはいましたが、ある方の誘いがきっかけで参加するようになりました。正直わからないことばかりで、つまらないと思ったこともありましたが、寺に足を運び、お経をあげ、皆さんのお話を聞いているうちに何となく自分の人生を振り返るようにもなり、周りの人の生き方にも理解や共感もできるようにもなりました。穏やかで不思議な充実感が生まれてきたようにも思います。

何となく生きてきた自分が、一歩踏み出し、歩み出しているような気がします。ご院さんを含めて、御同法御同行の歩みの中で、聖人の、み心を受け止め、感謝の人生を歩んでいきたいと思えます。

住職より

昨年末の報恩講ならびに門信徒総会にも、多くの門信徒の方々のご参詣・ご出席を賜り、心より御礼を申し上げます。

総会では本堂改修工事の議案もあり、忌憚のない御意見をいただきましたこと、住職として深く心にとどめ、今後の寺院運営に役立てていきたいと思っています。また光受寺役員会におきましても、皆様方のご意見を最大限尊重してまいりたいと思っています。今後、すべての皆様方のご期待にお応えすることができるかどうかは分かりませんが、できうる限りの配慮と、努力を惜しまないつもりでおりますので、どうかご理解とご協力をいただきますことを切にお願いを申し上げます。

皆様方お一人おひとりのお力が、ただただ頼りとなるところでございますので、どうかよろしくお願いいたいところであります。

ご浄財の納入方法等につきましてのご相談につきましては、住職・役員が承れるように準備を整えておりますので、お気軽にご連絡いただければと思っております。

尚、1月以降光受寺役員か住職が直接お伺いし、お願いにあがりますのでよろしくお願いいいたします。

合掌